

取扱説明書

・ガス切断火口：ガウジング火口 ・ガス切断火口：スカーフィング火口

- ・取扱説明書をよく読み理解してから操作してください。
- ・本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性があります。
- ・本取扱説明書は、常に製品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。

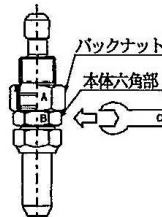
△ 注意

- ・指定の燃料ガス以外使用しないでください。
- ・専用吹管をご使用下さい。また、指定の用途（ガス切断またはガウジング、スカーフィング）以外には使用しないでください。
- ・吹管、調整器の取扱説明書を良く読んでから、ご使用ください。
- ・逆火が発生した場合には、ただちに吹管バルブを閉じて作業を中止してください。そのまま放置しますと、火口・吹管が溶損し、火傷する危険があります。また、作業を中止した後十分に冷却し、逆火の原因となったものを取り除いてください。再使用の際には、火口・吹管の清掃、各接続部のガス漏れチェックをした後ご使用ください。
- ・火口の清掃には専用の掃除針をご使用下さい。硬い掃除針を使って火口孔を傷つけたり、変形させないでください。逆火の原因となります。また、火口掃除の際には酸素を流さないでください。酸素が噴出していると発火し火傷を負う可能性があります。
- ・火口は定期的に掃除してください。
- ・低圧式火口の場合パッキンは専用の部品をご使用ください。
- ・使用中または使用直後は、火口は高温となっていますので、触れないでください。火傷する危険性があります。

～火口取付け方法～

1. 低圧式火口（バックナット付き火口）及びガウジング火口の場合

- ① 火口と器頭の当たり面に傷、異物、油がないことを確認してください。
- ② バックナット（A）を本体六角部（B）に当たるまで一杯戻してください。
- ③ 火口を器頭の奥に当たるまでねじ込んでください。
- ④ 火口本体六角部（B）をスパナで締め付けてください。
- ⑤ バックナット（A）を器頭に当たるまで手で回してください。
- ⑥ バックナット（A）をスパナで締め付けてください。
（初回は1/2回転、二回以降は1/4回転）



2. 中圧式火口（3段当たり火口）及びスカーフィング火口の場合

- ① 火口と器頭の当たり面に傷、異物、油がないことを確認してください。
- ② 火口止めナット付きタイプ以外は、火口に火口止めナット（吹管部品）をはめてください。
- ③ 吹管の器頭に火口止めナットを手で奥に当たるまでねじ込んでください。
- ④ 火口止めナットの六角部をスパナで締め付けてください。なお、火口止めナットを締め付ける際は、吹管器頭部の六角部、または、スパナ掛け用二面取り部に相スパナを必ず掛けてください。

